

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	らいおんハートリハビリ児童デイサービスつくば		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 6日		2026年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42人	(回答者数) 19人
○従業者評価実施期間	2026年 2月 6日		2026年 2月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	集団療育と個別療育の両方を組み合わせてお子様の特性に合わせたカリキュラムを組むことが出来ている。また、多機能型の施設の為に慣れた環境のもと継続した支援を行う事が出来ている	活動支援については、5領域に沿った活動プログラムを立案して行っています。 内容については法人内で活動プログラム委員会が設立して内容を全体で共有して立案しています。また環境の変化が少ないように顔見知りの職員が進級時に細目にコミュニケーション取り不安が無いように努めます。	職員間での情報の共有を強化して誰もが同じ対応が出来るように努めます。 お子様の発達ニーズに応じた活動内容が提供できる様に施設内外の研修等に参加して知識を向上します。
2	専門職(言語聴覚士)の指導のもと全職員が専門的な知識を持ちコミュニケーションの取り方や視覚支援・言語訓練を行う事が出来ます	ケース会議を随時行い専門職のアドバイスを基にお子様の対応を全職員で共有しています。 また、個別の訓練の仕方についても勉強会を開催して全職員が出来るように周知しています。	現状のサービス維持が出来るように今後も職員課での情報共有を深めチームとして支援に取り組みます。
3	業所内の情報共有・関係機関との連携体制があること	関係機関と支援状況や課題について情報を交換し連携をとることで個々の発達状況を捉えたり、集団での様子を相互に伝え合っています。 情報はスタッフ間でも共有し、支援の統一を図っています。	引き続き、関係機関との定期的な連携を図り、お子さんの支援状況や課題について情報を交換します。 引き続き、職員間で連携をとりながら情報共有し、チームでの支援に取り組みます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の他のお子さんとの交流機会が不足している	保育所や幼稚園等との交流や、地域の他のお子さんと活動する機会を活動として提供できていません。	市内外の保育所・幼稚園等からお子さんが当事業所に通所し活動に参加することが交流の機会となっている一面もあります。保護者の方の要望などを伺いながら、必要とされている交流の方法などを検討していきます。
2	保護者同士の交流の機会が不足している	今年度は祝日にお仕事をされている保護者の方もおり、日程調整が難しかった為、保護者同士の交流の機会を設けることができませんでした。	親子で参加できるイベントを企画したり、懇親会を開催する等気軽に参加できる方法を検討します。保護者の皆様のニーズに応じた開催方法を検討していきます。
3			